



「共謀罪」法案は廃案に

日本共産党演説会 市田忠義参院議員・党副委員長が訴え



演説する市田忠義副委員長 =5月20日、赤羽会館

20日、赤羽会館で日本共産党演説会が開かれ、池内さおり衆院議員、そねはじめ都議、市田忠義参院議員・党副委員長が演説しました。この中で市田氏は、国会審議中の「共謀罪」法案の廃案を訴えました。

安倍政権は、23日に衆院本会議で「共謀罪」法案の採決を強行し、自民、公明、維新でこれを可決しました。

市田副委員長は、この法案について、具体的に危険な行為があつてはじめて処罰するという近代刑事法の大原則を覆すものだとし、①国民の思想・内心が

安倍政権は、23日に衆院本会議で「共謀罪」法案の採決を強行し、自民、公明、維新でこれを可決しました。市田副委員長は、この法案について、具体的に危険な行為があつてはじめて処罰するという近代刑事法の大原則を覆すものだとし、①国民の思想・内心が

各種世論調査でも8割近い国民が「政府は説明責任を果たしていない」と答え、6割前後が「今国会で成立させるべきではない」という「共謀罪」。過去3度と同じように、今回も廃案しかありません。(のの山けん)



北区議会は、23日に第2回臨時会を開き、議長・副議長、5つの常任委員会と議会運営委員会、3つの特別委員会の改選をおこないました。議長には、榎本はじめ氏（自民）が、副議長には、宮島修氏（公明）が選任されました。

新しい議会構成の下での第1回定例会は、6月12日から22日までの日程で開かれます。

区議会第2回臨時会

委員会委員など改選

“無害化は約束できない”

専門家会議座長が発言

東京都が築地市場の移転先とする豊洲新市場予定地（東京ガス工場跡地）の土壌汚染対策を議論する都の専門家会議が、5月18日に開かれました。会議で平田座長は、豊洲市場の汚染について「無害化の約束はできない。環境基準（以下）にすることをめざしていない」と発言。傍聴していた市場業者らから「約束違反だ」との批判が相次ぎ、会議は紛糾し途中で打ち切りとなりました。



会議では、今年2月に行った地下水調査に続いて、4月に実施した調査でも、同じように環境基準の100倍のベンゼンをはじめシアンなど有害物質が多数箇所から検出されたことが報告されました。深刻に汚染されていることが決定的となりました。

にもかかわらず専門家会議は、当初、環境基準を超える汚染を残したままの「対策」を提案する予定でした。会議で平田座長は「無害化の約束をしなければならぬ」ということは私ではできない。全て環境基準にすることを今回はめざしてない」と発言しました。しかし、市場業者や都民のみなさんから「無害化とするとした約束に違反する」とする声が相

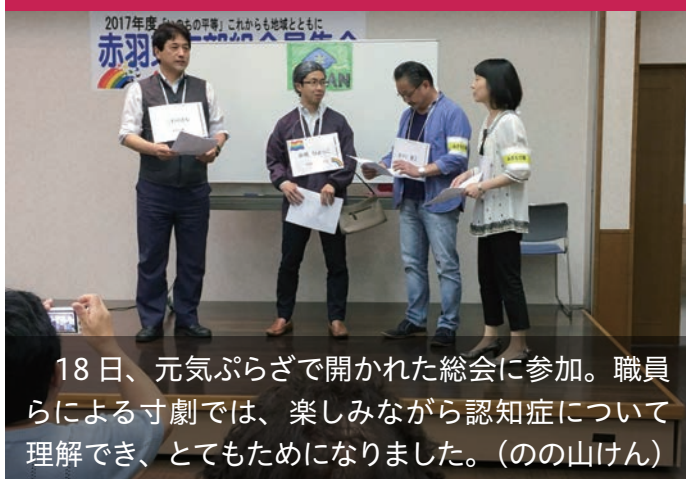
次ぐなか、「対策」を提案できませんでした。土壌汚染も地下水汚染も無害化しないですすめようとする市場当局と専門家会議の対応では、都民を納得させられないことは、もはや明瞭です。

築地再整備こそ安全・安心の道

生鮮市場をどうするかという問題は、50年、100年単位で考えるべき事業です。

食の安全・安心を守るために、日本共産党は、豊洲新市場への移転をきっぱりと中止し、80年余の歴史で安全が実証され、世界的ブランドとして確立している築地での再整備に踏み出すことを強く求めます。

ほくと医療生協赤羽東支部総会



18日、元気ぷらざで開かれた総会に参加。職員らによる寸劇では、楽しみながら認知症について理解でき、とてもためになりました。(のの山けん)

赤羽岩淵中学校運動会



赤岩中運動会が20日開かれ、見学しました。真夏日となったコンディションの中で、躍動する若い力の競技に感動をもらいました。(のの山けん)